

協議メモ一覧表

(R7.1.30開催)

(第4回琴平町立小学校・認定こども園統合新築検討委員会)

グループ協議メモ A班

A 協議メモ内容	意見	町回答および検討事項
平面計画等について	・ 小学校は、児童数（出生率）を加味し、面積は妥当	・ R6年度の児童数は、1年44名、2年48名、3年41名、4年51名、5年53名、6年56名の合計293名です。（R6.5.1現在）一番多いのが6年の56名で二教室設置とすると一教室28名となり、一番少ないのが3年の41名で二教室設置で一教室約21名となります。現時点において小学校の一教室の人数は最大35名を基準としており、現在の設計においても下回っている状況です。なお、R11年開校予定の予測児童数は合計226名であり、R6学年別で比例すると、一番多い6年が43名で二教室設置すると一教室約22名となり、一番少ない3年で32名となり、二教室設置で一教室16名となります。※R6年度児童・生徒数資料添付
	・ こども園はプール配置がよい 遊戯室への移動がしやすい	・ こども園のプールについては、3歳未満児は、日差しを遮るための軒下にビニールプールをその都度設置してもらい対応する予定です。3歳以上児用のプールについては、現在建物内に含まれていますが、夏季メインの使用のため、日差しを遮るなどのものを設け屋外に設置するなどし、建物内の有効活用を検討してまいります。 遊戯室は児童などが利用しやすいように今後も工夫していく考えです。
校舎の建物構造について	・ 資料から判断し、鉄筋コンクリートが望ましい。 本協議会は児童を中心に考えることで、コスト、耐久性、安全性で判断したい	・ 設計会社の比較検討表において、断熱性、遮音性、居住性、耐久性などがRC造の方が優れているとの見解がありました。S造についても、耐火被覆、断熱材及び防音材の充填、優れた外装材の使用をおこなう事により安全性や居住性、外観の向上を図れるとのことでしたが、その分コストも上昇するとのことでした。 よって、町の回答としましては同様に基本性能が優れているRC造で設計を進めていきたいと考えています。

R6年度 児童・生徒数（R6.5.1現在）

令和 6 年度　　児 童 ・ 生 徒 数													参 考 資 料		
													令和6年5月1日現在		
	小														

グループ協議メモ B班

B 協議メモ内容	意見	町回答および検討事項
平面計画等について	・放課後の建物が東によらないか →車のおくりむかえするだろうと思うが...	・各施設とも使いやすいように検討してまいります。
	・通学路を真中につくったのはよかった	・今後とも各施設とも使いやすいように検討してまいります。
	・教材庫が少ない（管理棟に少ない）-小学校・こども園	・教材庫など、収納の充実の希望は多数承っております。各用途に応じた収納の充実を検討してまいります。
	・体育倉庫のクランク	・敷地北側中央部のことだと思いますが、こども園の給食材料の搬入口につながる通路となります。
	・地域活動室は有効か	・地域と学校が協働活動するなどの拠点の場として有効と考えています。なお、教育等に支障が生じることがないよう、地域住民が利用しやすいように検討してまいります。
	・用務員室ということばは	・学校の物品等の収受に関することや設備等の保全上の軽易な作業（清掃や整備、準備等）に関する用務を行う職員の室となっておりますが、校務員室などの他の室名表示を検討します。
	・吹き抜け（光庭）2か所必要か	・吹き抜け（光庭）は建物内部に外光をとり入れることで内部を明るくする効果があり、比較的大きな建物に採用されているものです。いずれにしても、各諸室と連携し配置等について検討していきます。
	・部屋を増やしたい	・必要な室は配置し、併用できるものは併用して利用するなどして、コスト面などを考慮しながら各諸室を効率よく配置していきます。
校舎の建物構造について	・PTA室-こども園の方ではなくてもよい→会議室を併用	・こども園側にはPTA室が必要ないとのことですが、いずれにしても各諸室を併用し利用することを前提に使いやすいように検討してまいります。
	・民家も近いので、となりの教室のことも考えて→鉄筋コンリートで	・設計会社の比較検討表において、断熱性、遮音性、居住性、耐久性などがRC造の方が優れているとの見解がありました。S造についても、耐火被覆、断熱材及び防音材の充填などをおこなう事により安全性や居住性の向上を図れるとのことでしたが、その分コストも上昇するとのことでした。 よって、町の回答としましては同様にRC造で設計を進めて行きたいと考えています。

C 協議メモ内容	意見	町回答および検討事項
平面計画等について	・ こども園の園庭から地域活動室との間に門扉はあるのか？	・ こども園の園庭と地域活動室玄関（出入口）の間には門扉があります。
	・ 小学校の園庭とこども園との間は何かで仕切るのか？	・ 小学校の園庭（運動場）とこども園との間はフェンスなどで仕切る予定です。なお、出入り口などを設けて連携できるように検討していきます。
	・ 機械置場とは何...！？	・ 建物内で使用する空調機器などの室外機等になります。
	・ 図書館は階段だけしか無い様だが、エレベーターの使用は可能か...！？ 両サイドから入る事は出来ないか...！？	・ 図書館（図書室）を2階に設ける場合は、一般住民のみの利用時は校舎側のエレベーターを含み可視化できるシャッターなどで区割りを行う予定です。 両サイドから入る事は出来ないかとの事ですが、各室ともに利用がし易いように検討していきます。
	・ 琴平唯一の小学校なので50年以上持つようになると良い。他から見ても恥じない建物（胸を張って通わせれる）小・こども園になると良い。 （大人・子供ともに思える。）	・ 新しい琴平町立統合小学校及び統合認定こども園（仮称）は琴平町唯一の町立小学校及び町立こども園になる予定です。通う児童はもちろんのこと保護者や教育関係者が良いと思えるものになるようにしていきたいと考えています。
校舎の建物構造について	・ 鉄筋コンクリートで良い。	・ 設計会社の比較検討表において、断熱性、遮音性、居住性、耐久性などがRC造の方が優れているとの見解がありました。S造についても、耐火被覆、断熱材及び防音材の充填などをおこなう事により安全性や居住性の向上を図れるとのことでしたが、その分コストも上昇するとのことでした。 よって、町の回答としましては同様にRC造で設計を進めて行きたいと考えています。

グループ協議メモ D班

D 協議メモ内容	意見	町回答および検討事項
平面計画等について	・教室をせまくすることはどうか。	・現在の教室は8m×8mの64㎡です。これは標準的な大きさで、収納やロッカーも含まれることとなります。現在の一教室の最大児童数は35名になっており、琴平町の場合、R6現在で一教室当たり最大児童数で28名になります。一度広くした教室を標準サイズに戻すこととなりますが、将来的な利用状況などを考慮して考えたものです。
	・その大きさは収納スペースをとってからの広さなのか。	・現在の教室は8m×8mの64㎡です。これは標準的な大きさで、収納やロッカーも含まれることとなります。
	・多目的スペースうまく使いこなせるのか。 各教室の前に3つある。必要なのか。 オープンスペースは自由さもあるが、それに伴って使い方に規制も必要にはなってくる。←これははじまってからの話	・想定では各学年ごとの短時間の集会などを想定しています。他にも開かれた空間としての開放性や、あらゆる利用が、ご意見のとおり一定のルールのもとでできることとなります。 琴平中学校にも同様の空間を設けていますが、各学年単位の集会などに利用するなど概ね好評をいただいております。
	・児童数の減少で2クラスから1クラスになる学年がでてく るだろう。少しでも教室が広いと子どもたちにとってもよい のではないかな。	・開校予定時のR11想定児童数は最小人数の学年で32名を想定し、一教室当たり16名となります。現在の基準は一教室当たりの児童数は35人となっていますが、教員を加配置し二教室を継続する予定です。
	・教員の意見も大切、また、再びコロナ過のような状況にな ったとき密にならないような対策も必要。	・教員など先生方の意見も反映し使いやすいように検討していきます。 また、密にならないように余裕のある空間やウイルスの対策として手洗い場などを設ける予定です。
	・図書室低学年用・高学年用があるなどはとり入れるとよい のではないかな。	・図書室は一般開放することを前提に設ける予定ですが、配置位置や学年別についても、検討していきたいと考えています。
	・倉庫の広さは多くほしい。	・教材などを収納する倉庫などの室を設けるなど使いやすいように検討したいと思います。
	・階段下のスペースなどの収納スペースにしたらどうか。	・階段下などのスペースは収納スペースとして活用するなど検討してまいります。
	・1Fのシャワー室は着替えることを考えると保健室の中へ、 保健室のカウンセリング室を広めにとってほしい。	・1Fシャワー室については保健室内にとり入れ、カウンセリング室についても利用しやすいように検討してまいります。
校舎の建物構造について	・鉄骨の方が間仕切りを変更できるのではないかな。	・鉄骨造の方が鉄筋コンクリート造と比べ可変性に優れていますが、学校としての利用であればどちらの構造も室用途の変更などで対応できると考えています。学校用途以外への大きな変更であれば可変性に優れた鉄骨造の方が、工事を伴いますが間取り等の変更ができると考えています。
	・まずは、耐久性を考えるが予算をふまえて決めていって ほしい。	・設計会社の比較検討表において、断熱性、遮音性、居住性、耐久性などがRC造の方が優れているとの見解がありました。S造についても、耐火被覆、断熱材及び防音材の充填、優れた外装材の使用をおこなう事により安全性や居住性、外観の向上を図れるとのことでしたが、その分コストも上昇するとのことでした。 よって、町の回答としましては基本性能が優れているRC造で設計を進めていきたいと考えています。
	・鉄筋コンクリートで作っていただくのは理想である。	・同上です。